



第4回「古河市健康川柳」が 決定しました

市民の皆さんが自らの健康^{みずか}を考え、生活習慣や食生活に対する関心を高める機会となり、より多くの人に特定健診や特定保健指導を受診・利用していただきたいという思いから始めた「健康川柳^{せんにゅう}」は、今回で4回目を迎えました。

今年度のテーマは「減塩」。各庁舎や健診会場で募集を行い、約40作品の応募がありました。前年よりも応募数は減少しましたが、健診会場で、「毎年、川柳を楽しみにしている」という声や、鉛筆^{にぎ}を握りながら真剣に考えている人たちの表情は、とても印象に残っています。

応募作品は、減塩についての実体験によるものや、家族を思っている内容を川柳にしているものが多くありました。どの作品も応募者の熱い思いが感じられました。

選考方法は、一次選考を通過した5作品の中から健診受

診者に投票していただき、入賞作品を決定しました。有効投票数は823票。あらためて皆さんの関心の高さを感じました。

投票の結果、今年度の入賞作品は右記のとおり決定しました。入賞作品は、各庁舎や健診会場に掲示したり、健診をお知らせするパンフレットに掲載したりするなど、さまざまな健康づくり事業に活用させていただきます。たくさんのご応募・ご投票ありがとうございました。

自分では健康だと思っても、病気によっては自覚症状がなく進行する場合があります。しかし、健診によって早期に発見し治療をすることで、心身への負担や経済的な負担の軽減につながります。自分だけでなく、家族も安心して生活していくために、年に一回は特定健康診査やがん検診を受けましょう。

健康づくり課

健康川柳入賞作品

最優秀作品

292票
獲得

うす味で 保つ健康
家族愛
倉本 清(尾崎)

優秀作品

226票
獲得

薄いかな？
と思うくらいが
いい塩梅^{あんばい}
関 明美(本町)

117票
獲得

減塩の 優しい味が
呼ぶ長寿
矢内 弘(駒羽根)

※敬称略。



見事、最優秀作品に選ばれた倉本清さん(74歳・尾崎在住)に インタビューをしてきました！



▲今回で2回目の受賞。「家族も喜んでいます」と話す倉本さん

Q 作品にはどのような思いが込められていますか？

A ついつい、味付けが濃いみそ汁や漬物^{つけもの}を好んでしまいます。家族は「じいちゃん血圧が高めだから、塩分は控えめで薄味がいい」と、いつも健康を案じてくれています。

自分にあった健康づくりで「保つ健康」と、いつも気づかってくれる「家族の愛」を詠^よみました。

Q 健康の秘訣^{ひけつ}はありますか？

A 毎日1時間程度の散歩と昼寝です。また、小さなことにも「幸せ」を感じることです。